

# 番外編

# 探索保育研究会



探索保育研究会は  
保育について〈楽しく〉話しながら広く深く〈探索〉して  
保育所・幼稚園・認定こども園の保育者が垣根を越えて  
一緒に学ぶことを目指す研究会です。

初任者・中堅・ベテラン保育者、みんな学びの主人公

参加料

無料

- 【日時】 2020年2月17日(月) 17:00～19:00
- 【会場】 山梨大学甲府西キャンパスN21教室(甲府市武田4-4-37)
- 【参加者】 保育者・保育関係者ならどなたでも

レッジ・エミリア・アプローチのイギリスにおける照会組織の代表を務めるRobin Duckett氏を迎え、実践検討会を行います。話題提供は、山梨大学教育学部附属幼稚園教諭吉岡良介氏に行っていただきます。少人数グループに分かれてセッションしたあとに、全員で意見交換をする予定です。実践記録の持ち寄り不要です。

「子どもを主体とする保育」といっても、国や文化が違えば、異なる保育をイメージしています。そんな違いのなかから、あらためて保育について考える機会にしたいと思います。

言語は英語と日本語の間で通訳がつきます。通常の研究会と同じように気軽にご参加ください。

Duckett氏プロフィール: 1995年より保育者となり、1999年イギリスで最初の『子どもたちの100の言葉』展を開催したことを契機に、レッジ・アプローチの照会組織Sightline Initiativeを設立、現代表。子どもは遊びと好奇心にあふれる探究者であると位置づけ、国内外の園・学校の実践研究・研修に携わる。

自然保育に関心が深く、著書に*Learning to Learn in Nature*(2014), *Adventuring in Early Childhood Education*(2009)などがある。



山梨大学主催

山梨県私立幼稚園連合会・山梨県保育協議会・山梨県認定こども園設置者連絡会共催

山梨県・山梨県教育委員会後援

〈探索・発見・創造・共同に基づく地域の教育文化創造プロジェクト〉

年間スケジュール

2019年5月9日、7月4日、8月29日、11月7日  
2020年2月26日、3月26日

お申込み  
お問い合わせ  
(当日参加可)

URL

<https://www.facebook.com/tansakuhoiku/>  
[tansaku@yamanashi.ac.jp](mailto:tansaku@yamanashi.ac.jp)

MAIL

2月15日(土)

14:00-16:00

山梨大学

大村智学術記念館にて  
Duckett氏講演

「ユートピアのための勇  
気」があります。ふるっ  
てご参加ください。

終了後、交流会も  
あります。(参加料無料)

## 探索保育研究会とは・・・

研究会や研修会で発言するとき、こんなことを言っているのかなと不安に思ってしまうことはありませんか？「探索保育研究会」は、どんな発言も保育者の学びにつながる場です。「探索」には、「間違い」や、「正しい」道はありません。歩いたり、迷ったり、止まって何かを考えたり、確かめたり、助け合ったり、冒険したりしながら、その場所を知っていくのが「探索」です。それと同じように「探索保育研究会」では、みんなでいろんな考えや保育の方法を出し合ったり、考えたり、試してみたりしながら、保育について学びます。

「探索保育研究会」では、今の保育のなかで、迷うこと、困ること、知りたいこと、学びたいことを、話し合いのテーマにできます。あなたが知りたいことは、他の人にとっても、きっと大事なテーマだからです。自分だけでは、あるいは園のなかだけでは答えが見えないように感じることも、ちょっとした疑問、大きな悩み、あるいは保育とは何かというような大きなテーマも、この研究会で他の人たちと一緒に、考えてみましょう。「対話的で主体的な深い」学びを子どもたちに促すのならば、まずは私たちが、他の園や社会と話し合いをしながら繋がり、自分の感覚や感情、考えを自分のことばで語り、そのなかで考えが変わったり深まったりする経験をして、その楽しさを味わってみたいと思います。

探索保育研究会には、教育学・心理学・美術や音楽を専門とする大学の教員も出席しています。他の園の保育の話聞くことも新鮮ですし、気の合う先生と会えるかもしれません。私たちが、お互いのためにできることは、きっとたくさんあります。この研究会を通して、保育者同士はもちろんのこと、保育者と研究者、地域の人々、学生など、立場を超えて一緒に山梨の保育のことを考え、その質を高めていきかけにしていけたら嬉しいです。

経験年数の少ない保育者も、ベテランも、それぞれに話したいことを話せるように、「宝探しコース」と「冒険コース」の二つのコースを用意しました。どちらのコースにも、これまで実践検討などの話し合いの経験のある保育者や大学の教員が入っていて、楽しく話せるように手助けします。保育についてだけでなく、記録の書き方や話し合いのルールも学べる機会になります。

研究会のなかで話し合いをしていくうちに、他に話したい、深めたいテーマが出てきたら、それに合わせてグループを増やすなど、体制を変えていきたいと思います。第4回研究会は、子どもの考えや気持ちを大切に保育について考えてみたいと思います。

まずはお気軽にご参加ください。研究会の内容を作っていくのは、参加者全員です。山梨県に、保育者が主体的に楽しく学ぶ文化を、一緒に作っていきませんか？

この研究会は、2017年4月、保育園・幼稚園・認定こども園の枠組みを超えて「探索」の仲間をつくること、子どもたちにとって必要な保育について、地域のみinnで考えていくことを目的として、山梨大学教員と山梨大学教育学部附属幼稚園、山梨県内の幼稚園・保育所・認定こども園4園を中心に立ち上げた「探索・発見・創造・共同に基づく地域の教育文化創造プロジェクト」から生まれました。保育実践について語り合うなかで、この面白さをもっと多くの保育者と共有したいと思い、2019年春から、山梨県内の保育関係者に広くお誘いすることにしました。

### プロジェクトメンバー

#### 山梨大学教員

秋山麻実(幼児教育学) 大野歩(幼児教育学) 小島千か(音楽科教育学)

高橋英児(教育方法学) 塚越奈美(幼児心理学) 新野貴則(美術科教育学)

#### 山梨大学教育学部附属幼稚園 石和誠心幼稚園

かほる保育園 木もれびの家(くだま第二保育園)

萠崎カトリック白百合幼稚園